

## 第1回 大洲市子ども・子育て会議 要録

1	委員会名	大洲市子ども・子育て会議
2	日時	平成28年5月25日(水) 13時30分～14時25分
3	会場	大洲消防署2階 会議室
4	欠席	なし
5	内容	(1) 地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について (2) その他

### 協議事項

#### (1) 地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について

#### 事務局説明

事務局より6月1日から実施する病児保育事業について、地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について説明。

#### 質疑・意見交換

(委員) 放課後児童クラブについて、最大で何名の受け入れが可能なのか。

(事務局) 28年5月時点だと11クラブで合計358名である。

(委員) 新聞報道によると放課後児童クラブの受け入れ可能数を計画を前倒しして2018年までに30万人増やすとあったが、その計画で行くと大洲市ほどの程度増やすのか。

(事務局) 市内中心部のクラブは家庭環境の変化も伴い需要が高まってきている。そういったクラブについては出来るだけ多く受け入れられるよう体制を整えなければならないと考えている。一方、利用が少ないクラブについては今後のあり方も課題になってくると思う。

要望に応えるべく準備を始めているが、支援員や空き教室などの場所の確保が難しいこともあり、早急には進まない所もあるがご了承願いたい。

(委員) 358名の定員で利用数は263名ということは定員は充分足りているのか。

(事務局) 保育所では住居している地区以外で受け入れが出来るが、放課後児童クラブについては通学している校区の放課後児童クラブに利用が原則であるため校区によっては定員以上の募集がある。

- (委員) 私の地区では放課後児童クラブの空き待ちが何名もいる状態である。夏休みだけでも一時的に定員増とすることは可能か。
- (委員) 放課後児童クラブは保護者も安心できるし夏休みでも集団生活が出来る。今後少しでも定員を増やしてもらえれば保護者も助かる。
- (委員) 私立幼稚園では通園している園児の兄姉に限ってではあるが夏休みの一時預かりを実施している。併設している高校の空き教室等を利用して地区の定員待ちの児童を預かることも検討できる。  
松山市などでは私立幼稚園が学童保育に協力しており、幼稚園バスで迎えにも行っている状況である。
- (事務局) 定員については一人当たり 1.65 m<sup>2</sup>が必要とされており、それに沿って定員を決めている。夏休みについては安全が確保できるようであれば、20%の増を目途に定員の増加を図りたいと考えている。利用料金については通常 5,000 円であるが夏休みは長時間の預かりとなるため 10,000 円を負担してもらうこととなっている。
- (委員) 待機児童数は何名か。
- (事務局) 4月1日時点では全体で21名である。
- (委員) 病児保育については、仕事を休まなくてはならない保護者もいるため、大変助かる事業だと思う。
- (委員) 制度上の問題ではあるが、新制度となって2号・3号認定に関しては公立・私立と同額の負担額となっているが、1号認定については公立と私立の差が生じている。松山市では1号認定も公立の負担額を私立と同額の水準へと持って行くようである。
- (事務局) 私立幼稚園と公立幼稚園の負担額に差が生じているのは認識している。ただ差が大きく公立の急激な負担増は難しく今後の課題である。

## (2) その他

### 事務局説明

事務局より特定不妊治療費の助成について内容を説明。

(各委員) 特になし。

(委員長) 閉会とする。